



「大阪の地盤沈下と地質汚染」

—地下水揚水禁止—の歴史と地質汚染とのかかわり

主催：NPO 法人 日本地質汚染審査機構 関西支部
地質汚染診断士の会
共催：地質汚染—医療地質—社会地質学会
日本地質学会環境地質部会
国際地質学連合地質環境委員会日本支部

日時：2008年11月15日（土）10:00～16:30

場所：片山化学工業研究所（7F 大会議室）

〒533-0023 大阪市東淀川区東淡路 1-6-7

Tel 06-6321-7360 / Fax 06-6321-7321

参加費：3000円（主催・共催団体会員）・4000円（非会員）
（資料代含む、当日払い）

※定員100名参加登録は片山化学工業研究所へ、ただし定員に達しましたらお断りすることがあります。



●阪急電車京都線 淡路駅下車、東口改札より徒歩 15分。
●JR新大阪駅よりタクシーで 15分。

片山化学工業研究所案内

土壌汚染対策法が制定され、汚染調査・浄化対策が活性化しているものの、浄化対策のほとんどが掘削除去・場外搬出で実施されている。これは、指定区域内を対策すれば良い、浄化期間が限られている、地下水揚水は地盤沈下が危惧される、揚水規制がある、などの理由により敬遠される。地下水を資源とは考えず飲用井戸がなければ汚染ではない。地質環境資源（地下水資源）観の欠落が、関西の地質汚染を深刻化させているのではないだろうか？地盤沈下と地質汚染のかかわりについて学術的・国家的観点から議論を展開する。

挨拶 NPO 法人 日本地質汚染審査機構理事長 楡井 久

第1部 パネルディスカッション（10:00～11:45 12:45～14:45）

趣旨説明 NPO 法人 日本地質汚染審査機構関西支部 上砂正一（10:00～10:10）

1. 大阪平野の地下水を考えるまたは地下水は公水か私水か（10:10～10:40）

大阪市立大学大学院名誉教授 熊井久雄（理学博士）

2. 大阪平野の地質・地下水環境（10:45～11:45）

大阪市立大学大学院 准教授 三田村宗樹（理学博士）

（昼食 11:45～12:45）

3. 地下水資源を考えた浄化対策（12:45～13:25）

—汚染された地下水を取り戻し有効に活用する—

環境地質コンサルタント 上砂正一（地質汚染診断士・技術士）

4. 地下水利用と関東地下水盆の環境管理（13:25～14:05）

—地方分権下における地方公共団体の役割—

千葉県地質環境研究室 古野邦雄

5. 地盤沈下・地質汚染の3都物語—大阪・東京・名古屋—（14:05～14:45）

—作者は誰か—

茨城大学名誉教授 楡井 久（地質汚染診断士・理学博士）

第2部 総合討論（15:00～16:30）

「温故知新：地下水盆管理の環境管理に学ぼう」

地質汚染と地盤沈下から水の都を守るために—地下水資源は、市民みんなのもの—

コーディネータ：株式会社メーサイ 笠原 茂（地質汚染診断士・博士（環境人間学））